



## 理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべてのものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

## めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

## 保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの全面発達を保障する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

乳児期の大切さ

(0～3歳の時期の重要さ)

生まれた瞬間やその後の数か月から数年間は、幼い子供が暮らしの中で経験する接触、動き、情緒のすべてが脳内で爆発的な電氣的、科学的活動に変換され、脳の何十億もの細胞がネットワークに組織され、何兆ものシナプスで結ばれる。

子供時代の初期には親や家族やそのほかの成人との間の経験や対話が生徒の脳の発達に影響し、十分な栄養や健康やきれいな水などの要因と同じくらい大きな影響力を持つ。この期間に子供がどのように発達するかがのちの学校での学業での成否を決め、青年期や、成人期の性格を左右する。

乳児は抱かれ、触れられ、愛撫されると、よく成長する。子供に与える暖かいケアがある種の保護機能を果たして、乳児が後のくらしで受けるストレスの影響に対してある程度の「免疫」になるようである。だが、幼いときの脳の柔軟性はまた、必要なケアを受けられず、飢餓、虐待、放置を経験すると、脳の発達が損なわれ得ることを意味する。

出生前や出生後の数か月から数年間に起こることの影響は生涯にわたって続く。

子どもが学校や生活全体を通じてどのように学び、人間関係を形成するかを決める、信頼感、好奇心、指向性、自制心、関係の構築、意思疎通や協力の能力など、情緒的知能の主な構成要素のすべてが、親や、保育施設などの教員や保護者から受ける早期のケアに左右される。もちろん子どもが健康や発達を促進し、新しい技能を学び、恐怖を克服し、固定観念を変え、遅すぎるといふことはない。だが、子どもは適切なスタートを切ることができないと、遅れを取り戻したり、もって生まれた可能性を最大限に発揮するのが非常に難しくなる。

2011年ユニセフ「世界子供白書」より抜粋

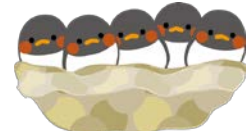
入園、進級おめでとうございます。新入園児の保護者にとっては新しい生活の始まりに、きっと不安なこともあるでしょう。でも、保育園は子供たちが主人公となる場所です。子供への思いや心配事がありましたら、職員へお話ししてください。子供を真ん中に保護者と職員がともに育ちあう場でもありますので、お互いに知らないことを伝え話し合うことが大切だと考えています。また、わからないことは先輩の保護者に聞くことも、助けになるかと思えます。

進級時のお子さんも環境が変わり慣れる間は、いつも以上に甘えることが多くなったり、夜泣きが出てきたりということがあられるかもしれません。なれる間の期間だと思いしっかり受け止めてあげましょう。子どもたちにとって園生活が快い生活の場となるよう職員一同努力していきますのでよろしく願いいたします。

園長 岡本友子

## 4月の予定

4月	13日(木)	健康診断	鬼塚先生懇談会
	18日(火)	体験保育	
	20日(木)	身体測定	
	27日(木)	健康診断	
	28日(金)	職員会議	



## お知らせ

### \*フェアキャスト

一斉メールを保育園のPCから直接送るのではなく、保護者が直接登録していただいたフェアキャストを利用して緊急連絡をすることにしました。後日、資料とIDパスワードを配布します。登録をお願いします。

\*今年度もカメラマンを依頼して、行事だけでなく日常の様子も撮影してもらいます。利用するにあたっては、保護者の方が直接登録していただきます。登録したい方は、用紙をお渡しますので、事務室までおいでください。

\*5日(水)の午後から門扉の暗証番号を変更いたします。番号は職員にお尋ねください。

\*小鳥の森保育園の幼児保育について、新入園児に配布した資料を在園児の家庭にも配布いたします。